

コアイベント

第34回東京国際映画祭(TIFF)



会 期：2021年10月30日(土)～11月8日(月)

会 場：日比谷銀座有楽町エリア

主 催：(公財)ユニジャパン

共 催：経済産業省／国際交流基金アジアセンター(アジア映画交流事業)／東京都(コンペティション部門、ユース部門)

後 援：総務省／外務省／観光庁／中央区／(独)日本貿易振興機構／国立映画アーカイブ／(一社)日本経済団体連合会／東京商工会議所／(一社)日本映画製作者連盟／(一社)映画産業団体連合会／(一社)外国映画輸入配給協会／モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)／全国興行生活衛生同業組合連合会／東京都興行生活衛生同業組合／(特非)映像産業振興機構／(一社)日本映像ソフト協会／(公財)角川文化振興財団／(一財)デジタルコンテンツ協会／(一社)デジタルメディア協会

支 援：文化庁

対 象：一般

公式サイト URL：tiff-jp.net

総来場者数(参加数)：864,151人(昨年対比約76%)

■開催内容

日本で唯一の国際映画製作者連盟公認の国際映画祭として、才能溢れる新人監督から熟練の監督までを対象に、世界中から厳選されたハイクオリティなプレミア作品を集結させて、メインとなる長編コンペティション部門など様々な部門で国内外に発信。映画上映以外に学生、プロフェッショナル、ビジネス来場者を対象とした貴重なセミナー、シンポジウムやワークショップなども開催し、フォーラムやマーケットとの連動を意識した参加交流型フェスティバルとして人と映画、ビジネスのリンケージを実現している。

■2021年度の新規取り組みとその成果・特色など

14年ぶりにメイン会場を六本木から日比谷銀座有楽町エリアに移転。コロナ対策のため動員数は落ちたものの人通りの多い同エリアでの開催は東京国際映画祭を知らない人たちにも大きくアピールすることができ、次年度以降への開催への礎となった。また、プログラマーも14年ぶりに交代となり、アジアに重きを置いたこれまでとは異なるラインアップはプレスからも好評を持って受け入れられた。

